つながる心 つながる力 みんなでつくる復興コンサート2022

このコンサートについて

“私たちは、被災者に直接音楽を届けることにより、亡くなられた方々を鎮魂し、ご家族や生活を失くされたみなさんを癒し、そして希望の灯をともすことに全力を挙げていこうと決意いたしました。仙台フィルの音色が人々の心、生活、地域の復興に役立つことを期待して。
音楽を必要としている被災地のみなさん、どうか私たちに演奏のご要望をお寄せください。仙台フィルはそのご要望に応えるべく最大限の努力を傾注することをお約束します。(後略)”これは2011年3月24日（木）に仙台フィルハーモニーのホームページに掲載された「宣言」です。
そしてそのわずか2日後の3月26日（土）宮城野区見瑞寺境内の特設会場で、おそらくは日本の音楽史に永遠に刻まれるであろう、第1回目の復興コンサートが開催され、仙台フィルの皆さんによる「音楽の力による心の復興事業」が、ここから始まりました。そして彼らの「決意」が私たちの想像を、はるかに上回るものであったことは、仙台フィルと東北の音楽家が集う「音楽の力による復興センター東北」の皆さんによる復興コンサートが、その後先細るどころか、年を追うごとに充実の一途を辿っていることからも明らかです（現在も3日に一度のペースで宮城県内のどこか、で行われています）。
一年に一度、みんなで仙台に集まって、東北の皆さんと交流を深めつつ、仙台フィルの演奏を聴かせていただいて、大きな拍手を送りたい！「みんなでつくる復興コンサート」は仙台フィルにエールを送る全国の音楽ファンの想いを形にする演奏会として2012回3月に第1回が開かれ、その後毎年回を重ねてまいりました。新たな10年のスタートとなる「2022」は、宮城県女川市ご出身の、俳優・歌手 中村雅俊さんをゲストにお迎えして開催させていただきます。
震災から11回目の春、新たな10年の始まりの春、2022年3月6日（日）、名取市文化会館で、皆様と一緒に仙台フィルと東北の音楽家たちに大きな拍手を送る瞬間を楽しみにしています。

「みんなでつくる復興コンサート2022」プロデューサー　OTTAVA　斎藤　茂

これまでの『みんなでつくる復興コンサート』の歩み

第1回　2012年3月31日開催　指揮：川瀬賢太郎　ゲスト：宮本笑里（ヴァイオリニスト）
世界中のトロンボーンニストによる東日本大震災チャリティープロジェクトから生まれた曲「A Song For Japan～日本に捧ぐ歌」管弦楽版を世界初演。

第2回　2013年3月9日開催　指揮：松井慶太　ゲスト：臼澤みさき
青森県八戸市出身の松井慶太さん、岩手県大槌町出身の臼澤みさきさん、そして宮城県仙台市の宮城三女OG合唱団を迎え、東北のアーティスト力を結集。

第3回　2014年3月30日開催　指揮：梅田俊明　ゲスト：海上自衛隊東京音楽隊：三宅由佳莉（海上自衛隊 東京音楽隊所属3等海曹）
仙台フィルと海上自衛隊東京音楽隊、同隊のソプラノ三宅由佳莉さんとの夢の共演が実現。

第4回　2015年3月29日開催　指揮：三ツ橋敬子　ゲスト：田代万里生
クラシックとミュージカルの数々の名曲を演奏する華やかなステージに。

第5回　2016年3月5日開催　指揮：岩村力　ゲスト：平原綾香
多くの方々に出演を待望されていた平原綾香さんをゲストに迎え、指揮者の岩村力さんと共に力強く復興を願い、仙台南高校音楽部合唱団の皆さんと「わせねでや」で共演し、「決して忘れない」という思いをひとつにしました。

第6回　2017年3月4日開催　指揮：石川星太郎　ゲスト：新妻聖子
ミュージカルを中心に様々な音楽シーンで活躍中の新妻聖子さんを迎え、その情熱的な歌声を響かせ、「わせねでや」を歌い継ぎました。

第7回　2018年3月10日開催　指揮：田中祐子　ゲスト：井上芳雄
ミュージカル界のプリンス、井上芳雄さんをゲストに、気鋭のマエストロ、田中祐子さんを迎え、息の合った2人がステージと会場を一体にしました。
仙台南高校音楽部合唱団の皆さんと「わせねでや」を歌い、「風化させない」という想いを将来に誓いました。

第8回　2019年3月9日開催　指揮：大井剛史　ゲスト：半﨑美子
初めて仙台市を離れて、多賀城市での開催。シンガーソングライター半﨑美子さんの、深く、暖かいヴォーカルに会場中がうるうる。
歌っている半﨑さんも仙台フィルの響きに包まれて歌う喜びにうるうる。生きている喜びを改めて実感させてくれました。

第9回　2020年2月29日開催予定〈公演中止〉　指揮：松井慶太　ゲスト：藤澤ノリマサ
2月26日に新型コロナウイルス感染症対策本部にて政府に要請された方針に従い、公演を中止とさせて頂きました。

第10回　2021年3月7日開催　指揮：岩村力　ゲスト：加藤登紀子
震災後真っ先に被災地に向かい、人々に寄り添ってきた加藤登紀子さんと仙台フィルの夢の共演が実現。
“苦悩から喜びへ”ベートーヴェン「運命」のメッセージから、復興への想いをみんなで共有した10年目の春。

司　会

斎藤茂
（OTTAVA）

佐藤渚

Sendai Philharmonic Orchestra
仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、これまでに外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度より飯守泰次郎が常任指揮者に就任し、さらに音楽的深化を推し進めている。
2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつむぐ活動を展開した。
現在、日立システムズホール仙台での「定期演奏会」を柱に、東北エリアを中心に年間100回を超える演奏活動を展開。「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

Masatoshi Nakamura
中村 雅俊（ゲスト）

1951年、宮城県牡鹿郡女川町生まれ。1973年、慶應義塾大学在学中、文学座附属演劇研究所に入所。
1974年、NTV「われら青春！」の主役に抜擢されデビュー。
挿入歌「ふれあい」で歌手デビューし、売り上げが100万枚突破。現在までに連続ドラマ34本を含め、主演作品は100本以上。歌手としてもコンスタントに曲を発表し、現在シングル55枚、アルバム41枚をリリース。
デビューから毎年行う全国コンサートも1,500回を超える。

Orie Suzuki
鈴木 織衛（指揮）

オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者、東京藝術大学指揮科講師。東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中にピアニストとしてデビュー。その後は日本屈指のオペラ団体・二期会において研鑽を積み、斉田正子、錦織健氏など人気声楽家とも多数共演する。日本各地のオーケストラを指揮。また、ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、レコーディングにも数多く参加している。

オッターヴァ
OTTAVA

24時間お聴きいただけるクラシック専門のインターネットラジオ局。現在、リスナーは全世界で100万人以上。パソコンやスマートフォン、タブレットでいつでも、どこでも、クラシック音楽がお楽しみいただけます。繊細な美意識を持つ日本人に響くクラシックを選りすぐり、楽章単位やサビでオンエア。みなさまからいただく楽曲のリクエストにお応えしたり、クラシックの最新情報をお届けしています。ご自宅で、オフィスで、通勤通学のお供に…クラシックを生活の中に気軽に楽しく取り入れませんか？

ホームページ▶http://ottava.jp　facebook▶http://www.facebook.com/ottava.jp　Twitter▶https://twitter.com/OTTAVA（#ottava）

ご来場のお客様への3つのお願い

1. 発熱、咳などの症状がある方はご来場をご遠慮ください。
2. 劇場内ではマスクをご着用ください。
3. 入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いします。検温で37.5℃以上が検知された場合は、入場をご遠慮頂きます。

本公演では消毒液などを使用した清掃、劇場内の換気を強化します

その他ご来場の際のお願い、本公演における新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、公式HPをご確認ください